2026年10月17日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
8,586万kW
11時30分、85,859 MW（10エリア同時刻合計）

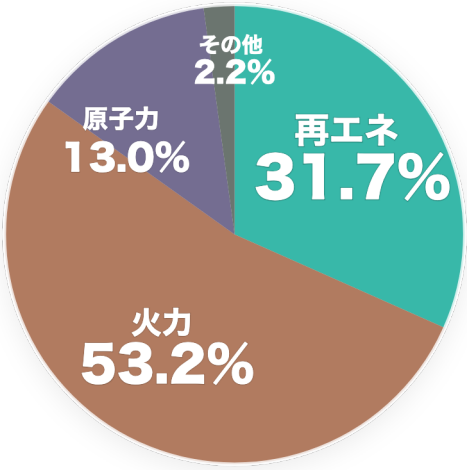
☀ 太陽光ピーク
5,002万kW
11時、50,023 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
294万kW
4時30分、2,939 MW

◇ 再エネ最大需要比
69.5%
11時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
103 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
81.8 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 50.5%

38.5 GWh

出力抑制量

16.0 GWh

最大: 東北 6.1 GWh

揚水・蓄電の充電

69.9 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、11:30に2,825万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで50.5%でした。
- 出力抑制は北海道、東北、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**31.7%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**611 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**1,930 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**69.5%**	11時
出力抑制量	**16.0 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**69.9 GWh**	発電構成比には含めない

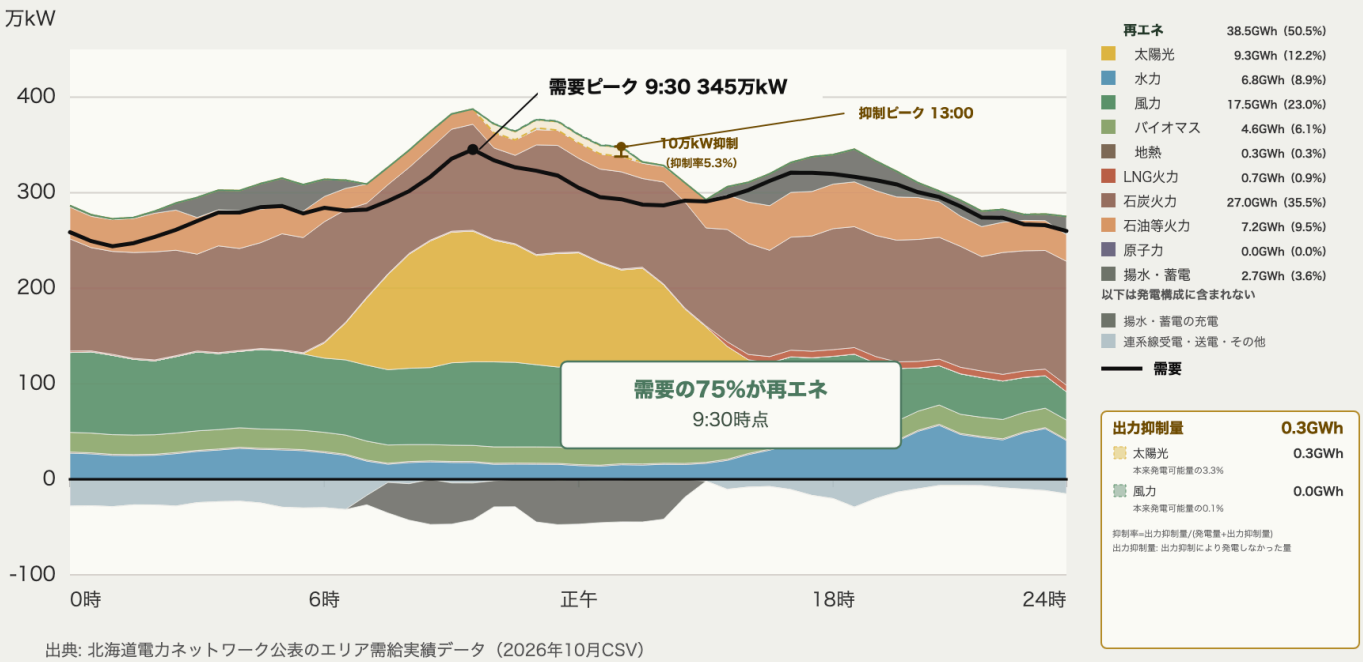
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**50.5%**	**38.5**	**0.3**	**送電 3.1**
東北	**44.6%**	**117**	**6.1**	**送電 81.8**
東京	**26.0%**	**135**	**0.0**	**受電 103**
中部	**38.7%**	**96.3**	**0.0**	**受電 39.0**
北陸	**37.8%**	**21.4**	**0.0**	**受電 0.4**
関西	**21.4%**	**59.0**	**0.0**	**受電 28.8**
中国	**27.5%**	**41.0**	**4.5**	**送電 13.1**
四国	**27.0%**	**23.8**	**0.8**	**送電 33.7**
九州	**33.7%**	**76.6**	**4.3**	**送電 23.1**
沖縄	**10.6%**	**2.7**	**0.0**	—

2026年10月17日の供給実績

北海道エリア

再エネ
38.5GWh
（発電電力量ベース50.5%）

北海道エリア 2026年10月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
76.2GWh

需要ピーク
9:30、345万kW

連系線・その他
3.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
3.0GWh

出力抑制
0.3GWh

概況

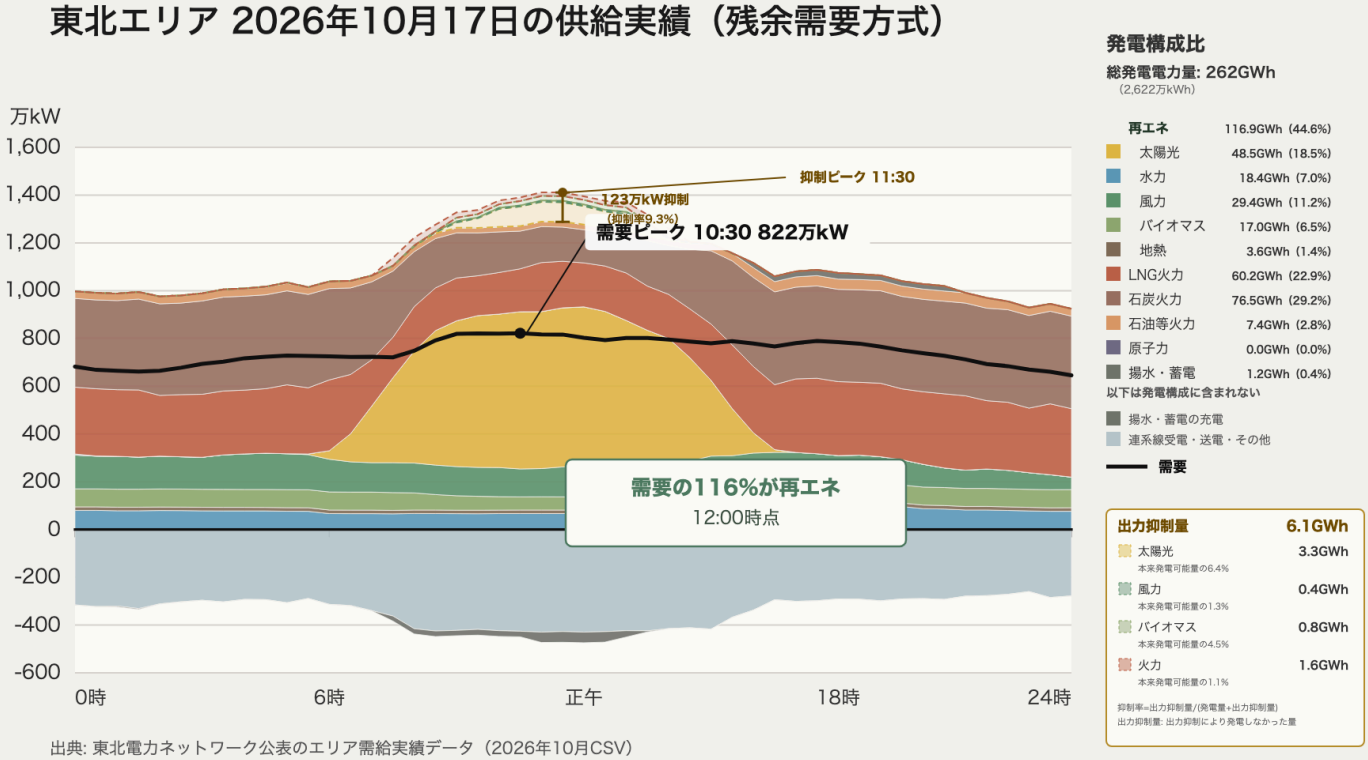
北海道は、太陽光ピーク137万kW、風力ピーク89万kWで、時間別の再エネ最大需要比は78.8%だった。

2026年10月17日の供給実績

東北エリア

再エネ
116.9GWh
（発電電力量ベース44.6%）

東北エリア 2026年10月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
262.2GWh

需要ピーク
10:30、822万kW

連系線・その他
81.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.9GWh

出力抑制
6.1GWh

概況

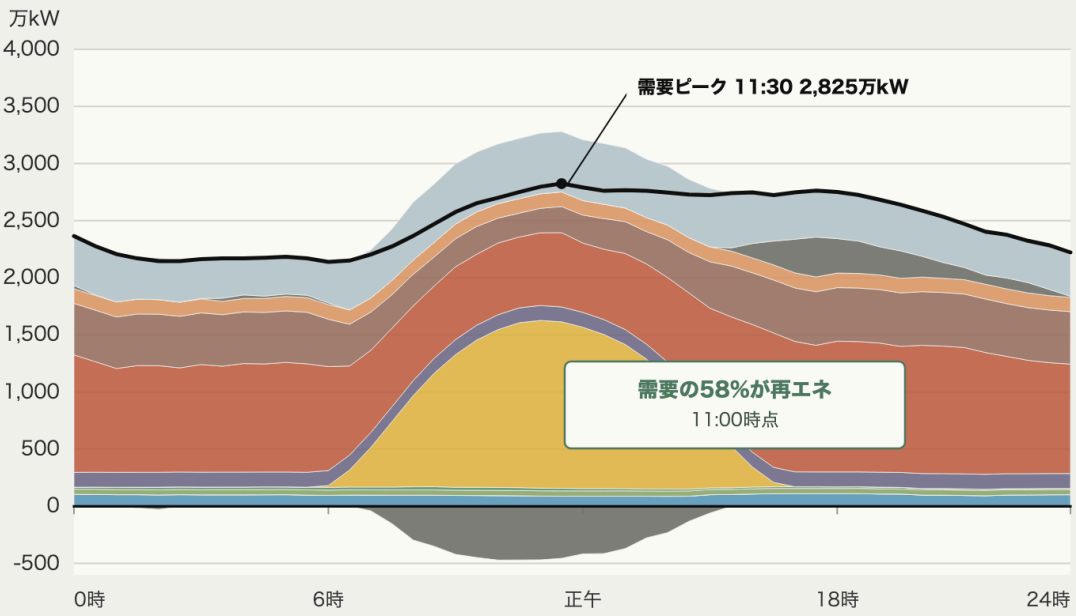
東北は、太陽光ピーク666万kW、風力ピーク152万kWで、時間別の再エネ最大需要比は116.1%だった。

2026年10月17日の供給実績

東京エリア

再エネ
135.1GWh
（発電電力量ベース26.0%）

東京エリア 2026年10月17日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比
総発電電力量: 520GWh
（5,204万kWh）

再エネ	**135.1GWh (26.0%)**
太陽光	95.9GWh (18.4%)
水力	23.7GWh (4.6%)
風力	4.4GWh (0.9%)
バイオマス	11.0GWh (2.1%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	214.7GWh (41.3%)
石炭火力	93.8GWh (18.0%)
石油等火力	30.4GWh (5.8%)
原子力	31.3GWh (6.0%)
揚水・蓄電	15.0GWh (2.9%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
520.4GWh

需要ピーク
11:30、2,825万kW

連系線・その他
103.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
27.6GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

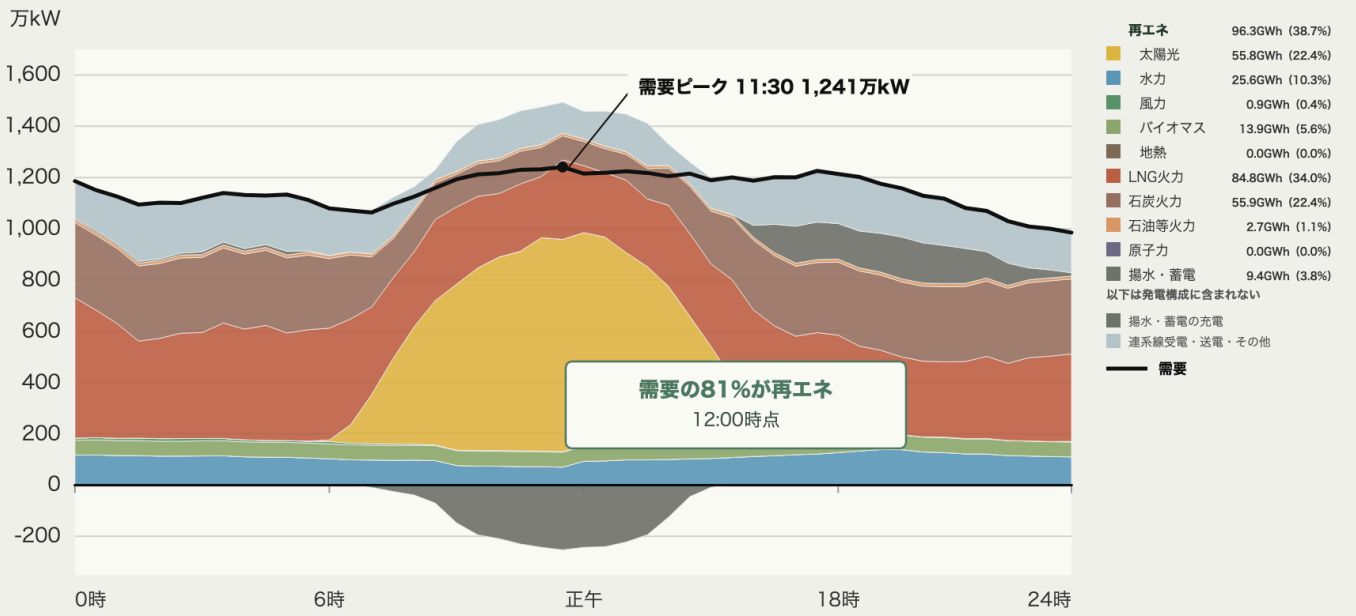
東京は、太陽光ピーク1,468万kW、風力ピーク28万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.4%だった。

2026年10月17日の供給実績

中部エリア

再エネ
96.3GWh
（発電電力量ベース38.7%）

中部エリア 2026年10月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
249.1GWh

需要ピーク
11:30、1,241万kW

連系線・その他
39.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
12.5GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

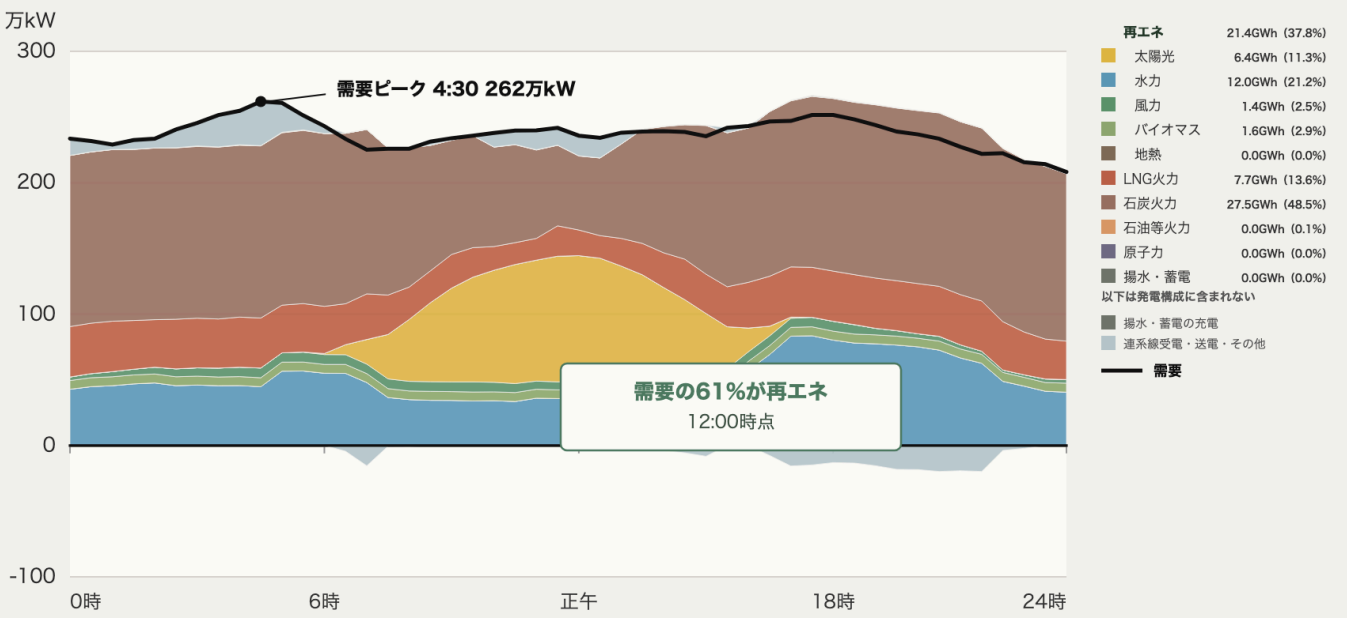
中部は、太陽光ピーク833万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.1%だった。

2026年10月17日の供給実績

北陸エリア

再エネ
21.4GWh
（発電電力量ベース37.8%）

北陸エリア 2026年10月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
56.6GWh

需要ピーク
4:30、262万kW

連系線・その他
1.5GWhの受電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

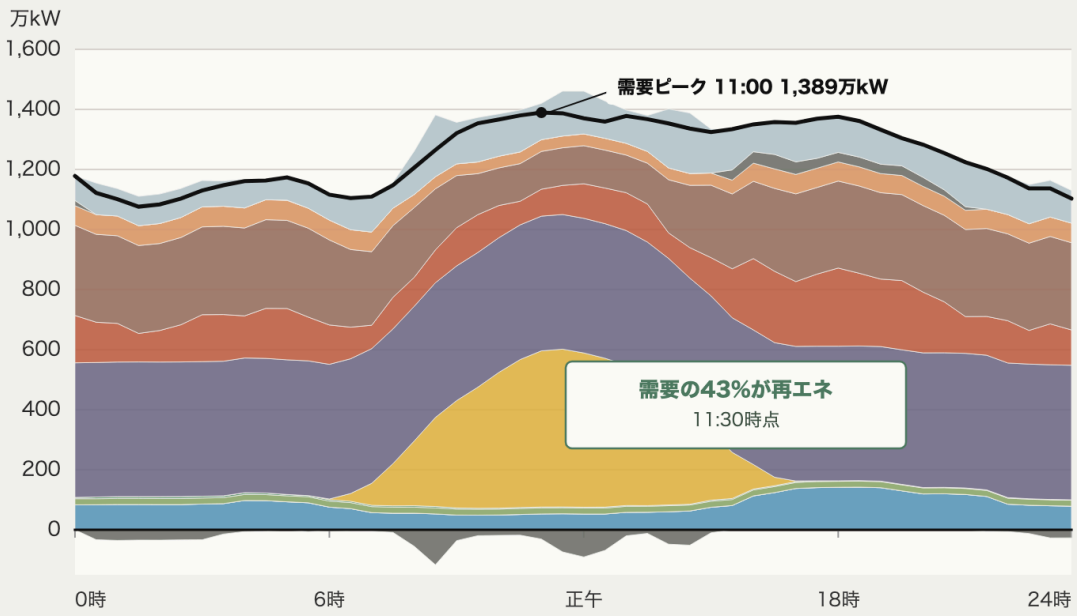
北陸は、太陽光ピーク96万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.3%だった。

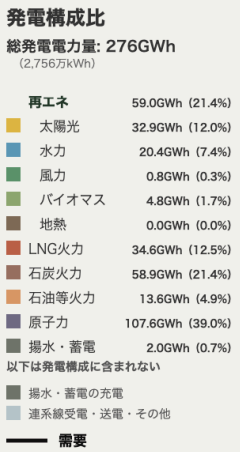
2026年10月17日の供給実績

関西エリア

再エネ
59.0GWh
（発電電力量ベース21.4%）

関西エリア 2026年10月17日の供給実績（残余需要方式）





出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
275.6GWh

需要ピーク
11:00、1,389万kW

連系線・その他
28.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
5.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

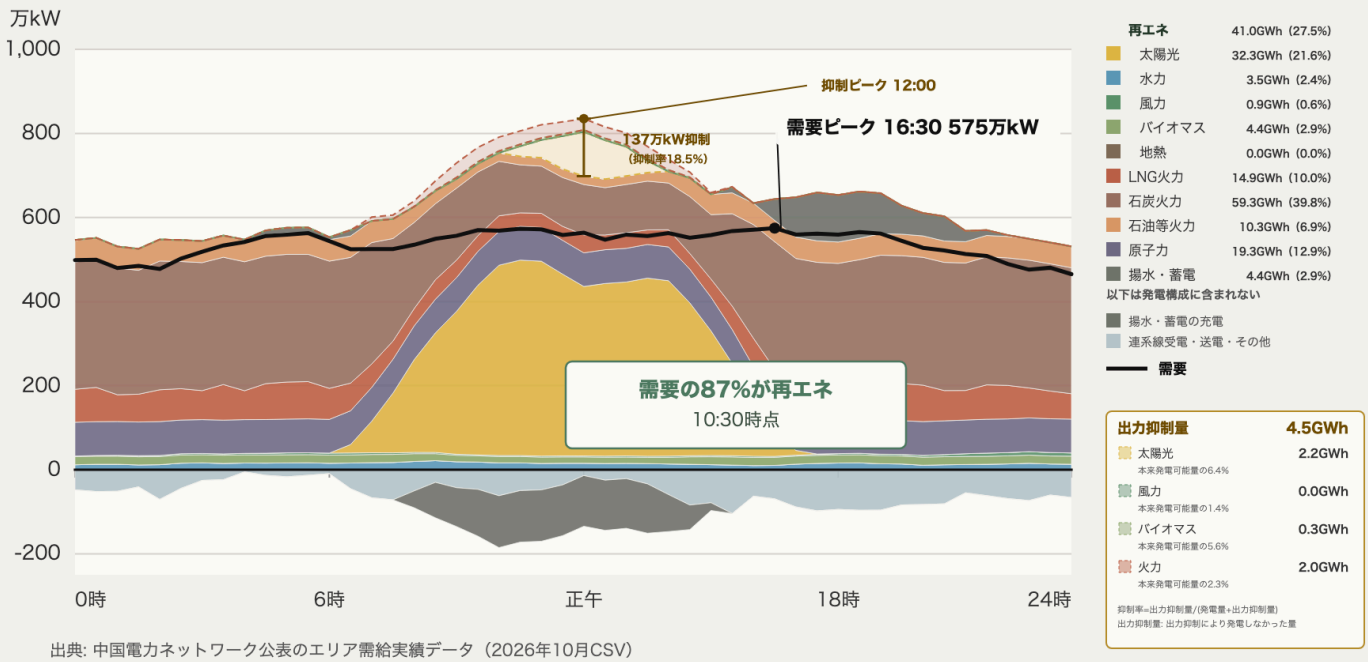
関西は、太陽光ピーク526万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.4%だった。

2026年10月17日の供給実績

中国エリア

再エネ
41.0GWh
（発電電力量ベース27.5%）

中国エリア 2026年10月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
149.2GWh

需要ピーク
16:30、575万kW

連系線・その他
13.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
7.3GWh

出力抑制
4.5GWh

概況

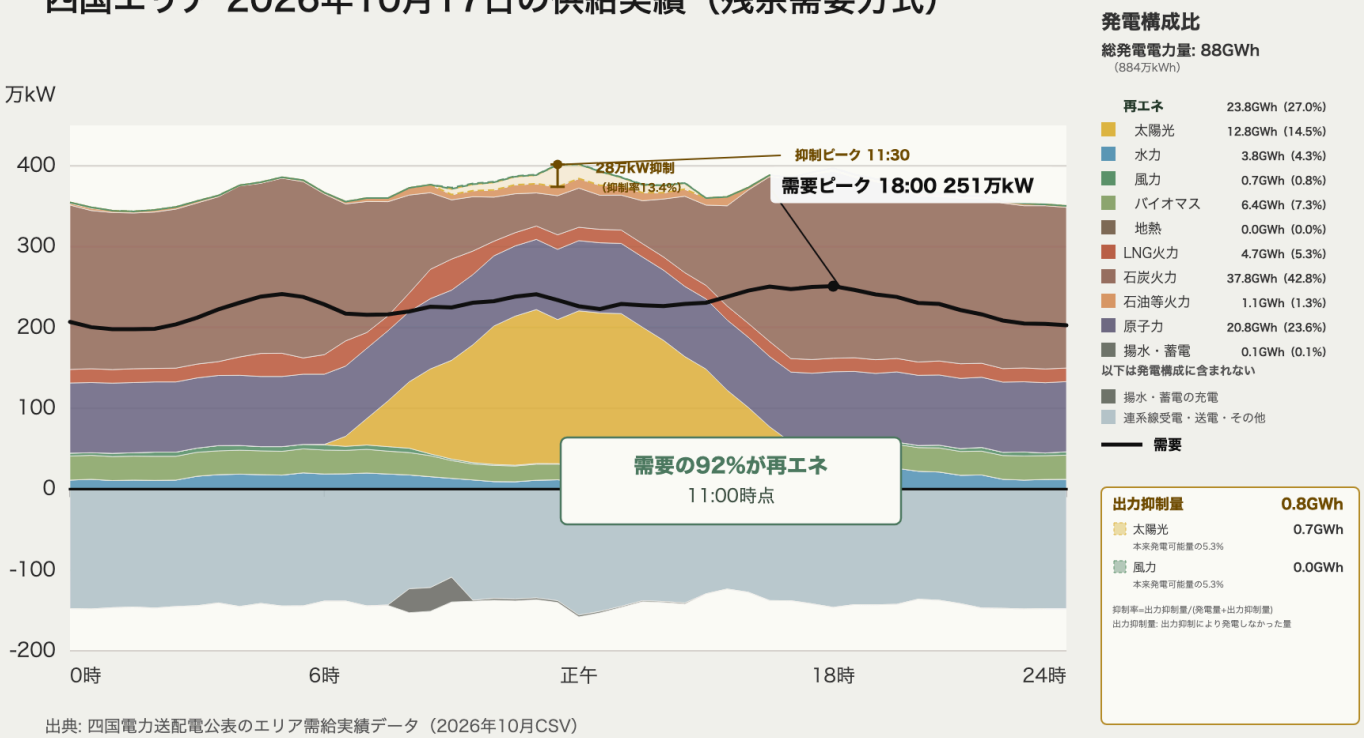
中国は、太陽光ピーク465万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は87.0%だった。

2026年10月17日の供給実績

四国エリア

再エネ
23.8GWh
（発電電力量ベース27.0%）

四国エリア 2026年10月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
88.4GWh

需要ピーク
18:00、251万kW

連系線・その他
33.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.5GWh

出力抑制
0.8GWh

概況

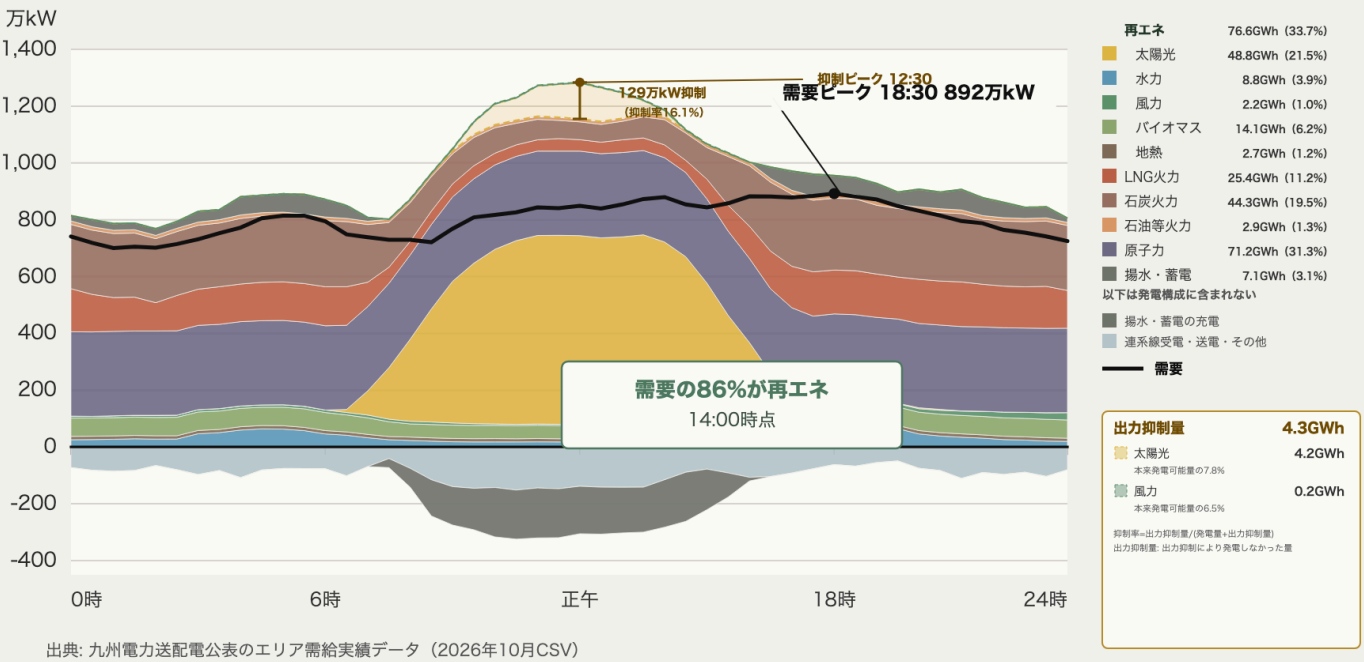
四国は、太陽光ピーク190万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は97.8%だった。

2026年10月17日の供給実績

九州エリア

再エネ
76.6GWh
（発電電力量ベース33.7%）

九州エリア 2026年10月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
227.5GWh

需要ピーク
18:30、892万kW

連系線・その他
23.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
12.2GWh

出力抑制
4.3GWh

概況

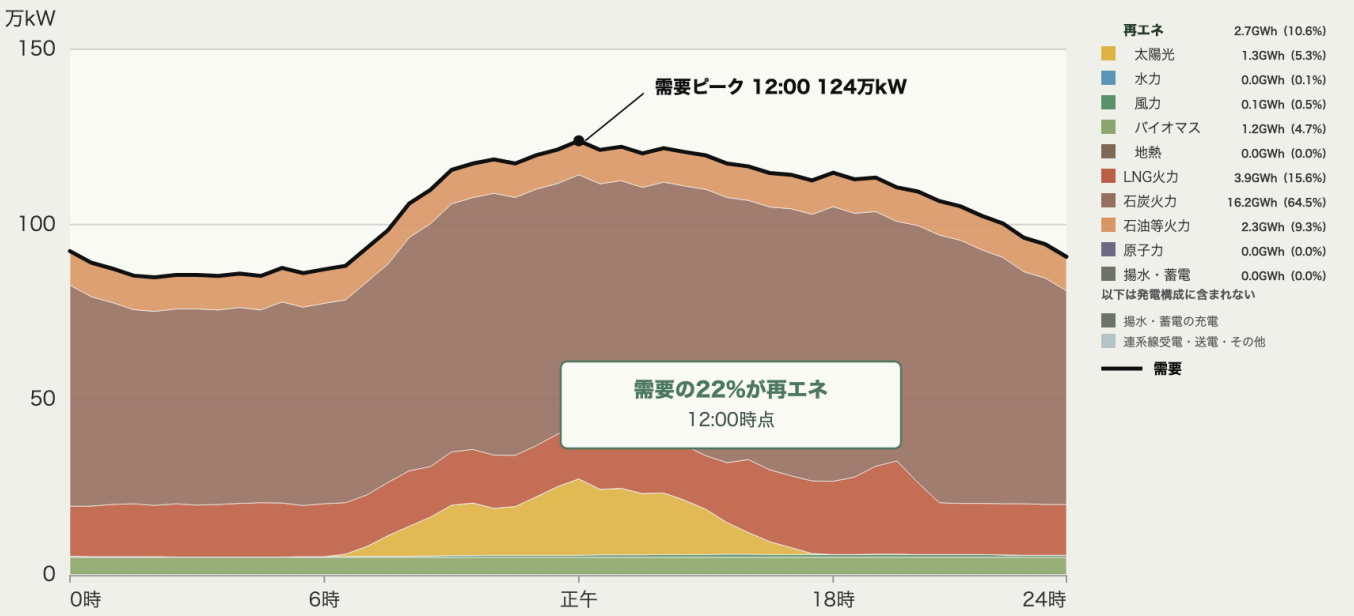
九州は、太陽光ピーク666万kW、風力ピーク26万kWで、時間別の再エネ最大需要比は88.6%だった。

2026年10月17日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.7GWh
（発電電力量ベース10.6%）

沖縄エリア 2026年10月17日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
25.1GWh

需要ピーク
12:00、124万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク22万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.1%だった。